

第 162 回ラドテック研究会講演会

期 日：2019年6月7日（金）13：00～16：40
場 所：大阪市立大学文化交流センターホール
主 催：一般社団法人ラドテック研究会

<プログラム>

1) 13：00～13：50

「高分子微粒子の構造制御および粒子構造体」

神戸大学 大学院工学研究科 南 秀人

高分子微粒子は、医薬、農薬から情報、化粧品に至るまで幅広い分野で機能性材料として応用されております。本講では、それら機能を左右する高分子微粒子の構造制御、さらにそれら微粒子からなる粒子構造体について紹介します。

2) 13：50～14：40

「植物由来ガス透過性ポーラスモールドを用いたマイクロ・ナノインプリント技術」

富山県立大学 工学部医薬品工学科 竹井 敏

植物由来ガス透過性ポーラスモールドを用いたナノ・マイクロインプリント技術の研究進捗を発表する。現在の主流である非ポーラスモールドに比べ、植物由来ガス透過性ポーラスモールドは①成形不良改善、②成形時間短縮、③複雑な成形可能、④被転写材設計容易、⑤流動解析精度向上、及び⑥離型抵抗低減の優位性を示した。

14：40 ～ 15：00 コーヒーブレイク

3) 15：00～15：50

「紫外線レーザー照射による金属ならびにセラミクス構造体の多次元造形」

大阪大学 接合科学研究所 桐原 聡秀

金属やセラミック粒子を液体樹脂へ分散し、高エネルギーの紫外線レーザーを照射すると、有機成分を分解しつつ無機粒子を焼結できる。連続施工を経た表面処理や立体造形による、多次元機能性構造の創製について述べる。

4) 15：50～16：40

「異種材料にも使える、高機能接着性モノマー」

大阪有機化学工業（株） 事業開発室先進技術研究所
赤石 良一

近年、自動車材料の軽量化や実装材料のフレキシブル化などが進み、異種材料の接合に関する重要性が増している。ドーパミンなど密着性の官能基を有するUV硬化性モノマーについて、異種接着における特性を紹介する。